市政について、
各議員がみずからの政策提言も含めて、
市に考えを聞くのが「一般質問」。
9月定例会では17人の議員が一般質問を行いました。

一般質問

◆会議録
冊子は市役所市政情報コーナー、図書館でご覧いただけます。
※9月定例会の会議録は12月に発行予定です。

◆インターネット議会中継
市議会の様子(生中継・録画映像)をパソコンやスマートフォンでご覧いただけます。
また、**各議員の写真脇にある二次元コードから一般質問の録画映像をご覧いただけます。**

二次元コードを読み取ると
議会中継がご覧いただけます。

安定しないコメ価格、給食の質は守れるか



小林淳一(令和研究会)

問 コメ価格が変動しても、給食の質は守れるのか?
答 市は栄養価を維持し、副菜の質を下げたり、保護者負担を増やしたりする考えはないと答弁した。

問 現在の主食と費用の状況は?
答 主食費の約77%を米が占め、全て行田産米を使用している。一方、米価の上昇は副菜費を圧迫する可能性がある。

問 行田産米をさらに活用できないか?
答 地産地消につながるが、価格変動を踏まえ、米・パン麺を組み合わせて安定提供するとの答弁だった。

問 給食の質を高めるための提案は?
答 私は、価格に左右されず栄養価を確保することに加え、金芽米の試験導入や行田産米の活用拡大を提案した。子どもの健康を第一に、給食の質を守る取組を求めた。

〔その他の主な質問〕
○障害者就労支援と福祉機器導入の推進について、継続検証

市民の安全・安心確保 地域防災力の向上



小林 修(令和研究会)

近年は、これまでの想定を超える台風や集中豪雨など大規模な自然災害が発生している。災害は忘れた頃にやって来ると言われるが、今はいつ発生してもおかしくない時代になっている。行政は過去の災害に学び、いつ来るか分からない自然災害に対して、市民の皆様が日頃の心構え、備えを忘れずに生活出来るよう支援し、安全・安心な環境で暮らせるよう、自助共助公助の連係と分担により災害に強いまちづくりに取り組まなければならない。

問 自主防災組織の実践的な活動に対するサポートの昨年度の実績、今後の予定は。
答 昨年度は防災資機材等の購入に係る自主防災組織補助金において、23件で約184万円を交付したほか、地域の防災意識の向上のため、出前講座や防災訓練など、43回参加指導した。今後も引き続き自主防災組織補助金や出前講座等を継続し、ハード面、ソフト面の強化と地域防災力の向上のための支援を行う。